

〔玉城 勇議員 登壇〕

○1番 玉城 勇君 先週から一般質問が始まっておりますけれども、皆さんおっしゃっているように、平成最後の南風原町の議会でございます。2019年、今回が第1回定例会ですけれども、6月はどうなるのかなと、ちょっと気になっております。平成31年第1回、次回は元号が変わりまして、第1回になるのか、第2回になるのか、総務部長考えていてください。それではいろいろと気にすることはあるんですけども、そういうものは気にしないで進めていきたいと思っております。

きょうは、引き続きの質問と、私のライフワークにしております防災関係も含めておりますので、満額回答を希望したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは1番目、東部消防組合消防庁舎建設についてでございます。(1)消防庁舎建設を推進するようですが、建設を決定した理由は何か。(2)消防庁舎の建設地についてはどのように考えておられるか。(3)消防庁舎建設のスケジュールはいつ確定するか。(4)消防庁舎と建設資金検討計画はいつから行うか。

2点目、自主防災組織についてお伺いします。(1)町は自主防災組織育成計画の中で住民などによる自主防災組織の設置を積極的に推進し、その育成強化を図るものとしてあります。町内自主防災組織は何地域にできているかお伺いします。(2)自主防災組織の設置されていない地域への自主防災組織の設置計画及び育成計画は進められているか。

(3)町内で防災訓練は何地域で行われているか。また、町も参加しているかお伺いします。

3点目、沖縄振興特別推進交付金についてお伺いします。(1)沖縄振興特別推進交付金を活用して、資材提供工事の復活ができないか。(2)里道整備工事に活用できないか。(3)再度、各自治会公民館の修繕に活用できないか。以上、お伺いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の東部消防組合消防庁舎建設について。(1)についてお答えします。これまでの本町及び東部消防組合議会での議論、消防組合庁舎耐震診断結果及び庁舎老朽等を総合的に判断したことによるものです。

(2)と(3)と(4)については関連しますので一括してお答えします。平成31年度から関係町を交えた消防庁舎建設の事業詳細や建設日程及び財政シミュレーションの調整を優先してまいります。同時に東部消防組合消防計画審議会の答申を踏まえていく中で、候補地案や日程案が決定されるものだと考えております。

質問事項2点目の自主防災組織について。(1)についてお答えします。町内自主防災組織は、第二団地自治会、東新川自治会、北丘ハイツ自治会、兼本ハイツ自治会の4地域で結成されております。

(2)についてお答えします。現在、平成31年度の結成に向けて喜屋武区と第一団地自治会と調整を行っております。以前から、定例区長会の場において自主防災組織結成について協議を重ねており、まだ結成されていない地域においても今後結成に向けて引き続き自治会と連携してまいります。設置計画及び育成計画においては、地域での防災訓練等を通して作成に向けて検討してまいります。

(3)についてお答えします。平成30年度は与那覇自治会、宮城区、大名区、本部区、照屋区、神里区、東新川自治会、北丘ハイツ自治会、津嘉山区、第一団地自治会の延べ10地域で訓練が行われました。町としては8地域と連携して図上訓練を実施し、東新川自治会においては避難誘導訓練に計画段階から参加しました。今後とも地域と連携防災訓練等を行ってまいります。

質問事項3点目の沖縄振興特別推進交付金についての(1)と(2)については関連しますので一括してお答えします。沖縄振興特別推進交付金対象事業は沖縄振興に資する事業等で、ご質問の資材提供工事の復活及び里道整備工事については交付要綱に定める事業に該当しないことから活用できないと考えています。

(3)についてお答えします。平成24年度から沖縄振興特別推進交付金を活用し、自治会公民館の改修等を行うために、南風原町災害時等避難施設改修事業補助金交付要綱に基づき、照屋、宮城、与那覇、本部、東新川、神里、北丘ハイツ及び兼城の改修等を実施してきました。次年度は喜屋武公民館の改修を予定しております。以上です。

○議長 知念富信君 暫時休憩します。

休憩(午前11時46分)

再開(午後0時59分)

○議長 知念富信君 再開します。1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 再質問を行いたいと思います。まず、1点目の東部消防組合の消防庁舎建設についての(1)のほうですけれども、以前はなかなか決定して推進するということが聞こえなかったんですけれども、今回は建設に向けて取り組んでいくということでございますので、確認しますが、庁舎建設に向けて強力に邁進をしていくということですよ、よろしいですね。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 東部消防組合、また構成3町連携して取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 実は、平成29年にも正副管理者が庁舎を建設していくと、もう後がないということで決定していたんですけれども、また正副管理者が変わった時点で、補強工事でできないかということもあって、今、半年ほどおこなっております。ですから、この事業について時間がないものですから、本当に強力に取り組んでいかなければ、消防庁舎の建てかえが大変厳しい状況がございますので、これについて再度確認してまいります。実は、平成32年までに工事を進めなければいけない、計画をしていかなければいけないという状況にありますけれども、今どのような取り組みになっているのか、あるいは皆さんで新しい組織も、協議会もできております。それも庁舎建設のための東部消防組合及び関係町調整会議ができておりますが、これの正副管理者、あるいは調整官とか総務部長を含めた会議がございます。さらにその協議に提案するための協議事項を提案する担当課長といたしますか、防災担当とか財政担当の組織がありますけれども、この2つの組織は庁舎建設に向けての組織になるのか、あるいはほかのものも含めた、検討するための組織なのか、これ自体どういうふうな設置になっているのか。去年の9月12日に設定されておりますけれども、これはどういう組織になりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 東部消防関係構成町と情報共有で意思疎通の、深い連携を図るために、まず管理者、副管理者に提案する前に担当課長、財政課長で組織する調整会議があります。その会議をへて、副町長、また部長で構成される会議をへて、最終的に管理者、副管理者へ提案する議案という仕組みで検討していくということで、また消防庁舎に限らずその他以外のこと、また今年度は平成31年の予算編成についてもそういった運営で調整を行ってまいりました。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 平成29年にトップダウンで正副管理者が直接決定しました。しかしその後、副町長協議、あるいは財政担当の協議でこれが白紙に戻りましたよね。それを踏まえてこういう組織をつくったのか、この課長会議あるいは副町長会議をへて、正副管理者に提案していくと。要するに下から提案していく。そのための組織をつくったのか。その辺は正副管理者の提案が、やっぱりトップダウンではまずいんじゃないかというような感じもあったのか。これはいかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 お答えいたします。トップダウンが悪いということではなくて、やはり正副管理者の政策の実現のためにやはり事務的にはやっていくと、調整とかいろいろ深く調査研究することがありますので、それを行ってきたということで理解しております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 それでは、せっかく組織できておりますので、早い時期に取り組みをお願いしたいんですけれども、その会議の計画といたしますか、これは平成31年度で終えて、31年度で正副管理者まで確認をとれるスケジュールになるのか。申しますのは、平成31年で防災、減災基金を活用するためには31年度でやらなければ間に合わないと思うんですが、これについてはそれに向けての取り組みにもなっていくのか、いかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 開催時期につきましては、平成31年4月からと聞いております。また議員おっしゃるとおり、緊防債、非常に有利な地方債でありますので、その活用に向けて取り組めるよう進めていくものだと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 確認しました。是非庁舎建設に向けて強力に取り組んでいただきたいと思います。

それで(2)ですけれども、副町長は(2)(3)(4)と一括して答弁しております

けれども、まず建設についてであります、これについてはどのようにお考えなのか。当初は別の場所に庁舎を建設するという提案もございました。それから別の場所の用地の取得に向けての行動もあったと思います。平成31年度から消防庁舎建設の事業詳細、あるいは建設日程及び財政シミュレーションを行うとありますけれども、まずその一つの建設について、今どのようにお考えなのか。時間的に見ると、現在地に周囲の土地を購入して建設したほうが一番早道だと思うんですけれども、その辺は、来月から協議に入るのであれば、それなりの情報収集はしていると思いますが、いかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 まず平成31年、ことし1月17日に行われました東部消防組合関係担当課長会議において、耐震改修補修診断の結果が報告されました。その結果の報告の中で、現施設はそのまま使用し、現敷地周辺の施設を購入し、敷地を拡大し、新消防庁舎を建設することが望ましく。周辺敷地の購入が困難であれば郊外移転を検討すべきとの報告がありました。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 まず、現有地の周辺の土地の確保がいつまでに購入できるかの判断をいつまでに定めておりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 そういった詳細についてはこれからであり、まだここには報告がありませんので、今後開かれる4月以降の調整会議にてスケジュール及び財政シミュレーションで検討していくものと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 まず建設予定地、建設が決まらなければ設計に入れませんので、早目に建設用地を決めてもらうように、皆さんがおっしゃっていたように現有地を拡大していくというの一番の早道だと思いますので、それを最優先に協議を進めていただきたいと思っております。それから同時進行になると思いますけれども、消防庁舎の建設のスケジュールについては、これは場所に限らず、スケジュールをつくっていかないといけないと思うんですが、これについての協議はやはり4月以降になると思うんですけれども、このスケジュールについては建設とは別にできるとは思うんですけれども、このスケジュールの検討というのはどういうふうに考えておりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 スケジュールについても今後の調整会議にて進めていくものだと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 是非できる作業は早目にスタートしていただきたいということですので、やはり消防庁、あるいは総務課長等とも協議をされて、早くできる作業は早目に取り組んでいただきたいと思っておりますので、お願いします。

それから消防庁舎と建設資金の検討計画でありますけれども、やはり先ほどから申し上げているように、平成32年度の緊急防災・減災事業債、緊防債の活用については、早目の検討とこれを活用するのしないのか。あるいはF P Iで民間の資金を活用していくのかの決定がおくれるとどの事業もできなくなりますので、まず平成32年度の活用の資金、緊防債はどういうふうに捉えていくのか。それからそれが間に合わなければ、民間の資金を活用していくのか、ある程度の時期が判断する時期というのは出てきますので、これについては、いま一度確認します。できるだけ早目にやっていただきたいと思っておりますけれども、この建設地のスケジュールと今の財政的なスケジュールは別だと思っておりますが、いま一度皆さんの考えていること、もしよろしければ副管理者の、町長のお考えをお聞きしたいと思っておりますが、よろしくをお願いします。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 玉城 勇議員の東部消防組合庁舎関係に関するご質問にお答えいたします。基本的には総務部長から答弁があったとおりでございますけれども、ただスケジュールが、本当にこれからというような感じでございます、私も心配しているんですけれども、いろいろと東部消防の事務方のお話を聞きますと、どうもこれだけの庁舎をつくるという大事業の割には、何ら、余り準備ができていないという気がいたしております、そのあたりをもう少し明確に話を聞きまして、是非議員ご指摘のとおり、緊防債、こんな有利な選択肢があるわけですから、それを活用できるような形でスピード感を持って、もう少し事務方は動いていただきたいということを正副管理者会議の中で要請をしていきたいと考えております。敷地、用地につきましても、まだ正副管理者会議の中でも本

格的な議論もされていないと。いろんなお話は出るんですけども、先ほど部長からございましたように、現敷地のほうに周囲を用買しまして、ふやしてというお話も確かにございます。しかし、これは本当に何といいますか、会議が始まる前のお話だったり、そういった雰囲気なものですから、正確な会議の中で用地についてはどうするんだということも、少し事務方のほうから報告も受けまして、正式に議論すべきじゃないかと考えておりますので、議員のただいまのご指摘に関しましてはしっかりと念頭に置いておきたいと思っております。以上です。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 じゃあ、町長。是非正副管理者から消防長を初め、担当課長にハッパをかける意味で、正副管理者会議でこういうふうに決まりましたと。皆さんはこの事業を進めてくださいと、そういう提案をしていただいて、それぞれの組織に、それぞれ2つの組織が、まず総務課長の招集、それからもう一つが消防長の招集になっていますので、是非正副管理者から力強くこの事業を推進するようというということで、早期に計画書を作成するようという提案をしていただきたいと思います。それでよろしいですか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 答えいたします。ただいまのご質問と申しましょうか、確認でございますけれども、そのように進めてまいりたいと思っております。ただ、ここで話しておきたいのは、これまでも正副管理者からそういったような消防の新庁舎をつくらなければいけないという形のお話は出たかと思うんです。それが消防庁舎を整備していかなくちゃいけないということが先に走ってしまって、具体的にどういうふうにしてつくるかとか、いわゆるいろんな整備計画ですね、財政をどうするかとか、いろんなそういうふうなものが後手になってなかなか進んでいないというのが現状だと私は認識していますので、そのあたりしっかりと我々正副管理者からのトップダウンだけではなくて、しっかりとこういったふうに消防庁舎を整備するということをはっきりさせて、それに向けて先ほど部長からありましたような事務方がしっかりとこれを積み上げていくということを正副管理者会議の中で議論をしていきたいと考えております。以上です。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 それでは町長、これまでが、せっかく決まっていたものが、内部のちょっとした行き違いがあって、発生したんですけども、しかし今般、去年9月12日に新しい組織ができて、担当者課長会議もできて提案するようになりました。それから調整会議ができました。それが最終確認だと思います。そこで正副管理者がゴーサイン出して進めなければこの事業が進んでいかないという状況でございますので、先ほど総務部長がおっしゃったように、建設に向けて取り組んでいくという決定を見ているので、早急に進めていただきたいと思います。ですから第一番目のクリアすべきものは、平成32年度の緊防債の活用でありますので、これに向けての強力な取り組みをお願いしていきたいと思っております。そこでちょっと例でありますけれども、豊見城消防ができました。約15億円の予算でありました。名護のほうが多分県内では一番いい消防庁舎ができています。被災の体験室とか、すばらしい施設ができておりますけれども、約25億円でありますので、そのうちの2割は構成3町の負担になりますので、その資金造成に向けて、是非7月以降の計画のテーブルに乗せていただきたいと思いますので、よろしく願いしてこの質問を終わりたいと思っております。

それでは2点目の自主防災組織についてでございますが、まず(1)の町の自主防災組織育成の計画の中で、住民などによる自主防災組織の設置を積極的に推進し、その育成強化を図るものとする町の計画がございます。その中で、現在、町内の自主防災組織は何地域にできているかということで、4地域だというふうに聞いております。今現在、その4地域はどのような活動をなさっているのか。まずそれから答えをお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 まず4地域におきまして、平成30年度、東新川におきましては6月10日、北丘ハイツについては12月2日に各自の自主防災訓練を行っております。また他の2地域については、9月1日に、本庁、役場庁舎と図上訓練を行いました。その際に残りの地域は一緒に図上訓練を行っております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 ありがとうございます。もちろん実施する訓練も大事です。図面上の訓練も大事であります。しかしその中で、どういう方々が参加されているのか、地域の皆さんでですね、この辺がやはりいざ災害が発生したときに、どう活動できるか、あるいはどう取り組みができるかというのが重要なところだと思いますけれども、そのメンバー

についてはいかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 自主防災組織を組織したところ、またそれ以外の自治会でも訓練を行っています。5地域の自治会で訓練を行っていきまして、おおむね20名から50名の地域の方々が参加して、訓練を行っています。高齢者だけの訓練の場所や、また与那覇、第一団地等については小学生から参加して、また20代、30代という方々の参加もある自治会があります。ですから地域によって年齢構成、参加者に違いはありますが、訓練の内容としては、避難施設である公民館までの自宅からの経路、また車椅子を活用して、通ったときに車椅子で道路の構造が不便であると、障害を来すということで、その後、改良を加えて、その後の防災に生かされている地域もあります。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 わかりました。今の4地域については了解しておりますが、やはり4地域がせっかくできているのに50%が訓練して、50%は実際にやっていないという状況だと思いますので、是非これについても実施できるように、これは指導をお願いしたいと思います。

それから2番目の自主防災組織が設置されていない地域のこれからの育成とか設置について、現在どのように進められておりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 現在は、先ほど答弁がありましたとおり喜屋武と第一団地の自主防災組織の結成に向けて、連携して取り組んでいるところであります。また、他の自治会についてもあらゆる機会を通して、その自主防災組織が結成できるよう、支援連携してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 これから実際に自主防災組織をつくる地域についてが一番大事だと思います。ですからいかに組織をしっかりつくっていくのか、組織のあり方によって人の動きが変わってきますので、ですからそこにどういったメンバーが入ってくるかという、部落の各種団体は入ってくると思います。部落の評議員会とか審議会がございますが、町には福祉協力員の皆さんも大勢おられます。それぞれの地域に変わった、各地域によって名称の違う組織もございます。ですからそういった方々を盛り込んだ組織にして、それぞれが行動できるような取り決めが必要ですが、特に私が思うには、その中に女性の皆さんが入ってこないとなかなか具体的な取り組みができてこないんですね。ですからこれは当区でもありましたけれども、男だけ来ると話だけで済んで、後はお酒を飲んで終わるということでございますが、実際に、手を取り合って行動するのが女性の皆さん、あるいは共助で助けができるのが若い皆さんでありますけれども、これについての、これからの組織づくりはどういうふうにお考えになっておりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 自主防災組織についてはそれぞれの自治会が、それぞれに合った組織づくりをしていくものと考えておりますが、その前に組織を結成するに当たり、自主防災組織の必要性、自主防災組織とは、役割、組織の結成、活動ということで、こういったものを網羅したものが規約となって出て、自主防災組織ができると思いますので、その段階が終わって、その箇所箇所にこういったものはどういったものかということで連携をしながら、説明をしながら自主防災組織の早期な結成に向けて取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 本町で取り組むべきものとしては、以前は防災とか、津波の件もあります、地震もあります、火災もありますけれども、南風原町は海に面していないものから、まず津波に対しては希薄ですよ。来ないだろうということでもあります。しかし、地震は起こるわけです。地震に対しての取り組みは、これに特化した取り組み、あるいは地震によって発生する火災の取り組みについて、具体的にこういう取り組みをしましょうとか、こういうときは皆さんで救助してくださいとか。あるいは訓練の前に自宅から集合場所に行く過程の中でのブロック塀とか家屋とか、その辺を事前に調査しなければいけないんです。ですから、本町としてそれをまだやっていないと思うんです。どういうふうにその取り組みをしていくのかと。以前もちむぐく館での防災訓練もやりました。翔南小学校グラウンドでもやりました。その目的があるはずなんです。本町としての防災訓練の目的をどこにウエートを置いて進めていくのか、これについての協議はなされておりますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 我々の防災訓練の大事なことは、その災害があったときに、実際に実践してできるように、活動できるようにすることが一番重要だと考えておりますので、去る9月1日に町長を筆頭として、三役、全部課長が図上訓練を行いました。これは自分自身体験して、非常によかったなと思っております。やはりふだんから災害時にどういう、我々管理職がどういった対応をするかを日々意識しながらやらないといけないと。これは1回だけではだめです。ですからことしも、毎年、何回も経験を繰り返して初めて実践で動けるものと考えておりますので、非常に防災訓練にとっては重要なものだと思っておりますので、今後も生きた、実践で行かせるような防災訓練に取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 町が町民に対しての防災訓練をやる場合、あるいは防災情報を出す場合に何が重要なのかというものは是非考えて、常に、地震も含めてそうですが、防災訓練では広報、意思疎通が大事でありますよね。皆さんはネットで各町民へのお知らせもできます。防災マップを作成するとか、地震、津波、あるいは火災の行動マニュアルをつくって町民に提示をしていくとか。そういったものをまずしなければいけない。あるいは学校での訓練、講話でもいいですけども、あるいは実践も学校で必要です。そういったものをやっていかなければ、いざ災害が発生したときに行動できない。ですので、まず私がやってほしいのは、役場での実践的な抜き打ちの訓練をするとか、訓練机上でやります。いつかは町長の号令で職場内での訓練をするとか、どのぐらいの確率でできるのか。そういうことを毎年やっていかないと、いざ実際起きた場合に多分対応できないだろうと言われておりますので、是非本町はそういうことがないように進めていただきたいと。それとあわせて、先ほど申し上げた避難路や避難場所、ああいうのは避難所の点検等も、是非常日ごろからやっていただきたいと思っております。

もう一つは、これから多分必要になってくるということですが、今、沖縄の建築物が、コウコウの建築物が35年以上たちました。コンクリートの寿命が50年以上でありますけれども、そろそろ昭和56年以前に建てられた建物については耐震性が弱いですよ。ですから、そういう建物についての補強工事が必要になってきますけれども、そのためにも町内の家屋の調査をしたり、あるいは補強が必要な場合に、せめて寝室とか、居間、みんなが集まる場所の補強についてどういうふうにしていくのかというのをこの防災会議の中で検討すべきじゃないかと思っておりますけれども、これについては後ほども質問しますけれども、どういうふうなお考えを持てるか、また検討していくことがあるのかどうか、あわせてお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 町の施設における診断、確認はしております。問題ないということで調査していますが、個人の自宅についての調査はしていません。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 やはり、全国的にそういう調査が必要であるというふうに指摘されておりますので、是非町としての調査、あるいは各部落に防災組織を設置して、それぞれの地域の自主防災組織のほうでチェックをしていくという2段階で是非進めなければいけないという時期にございますので、沖縄県もあと二、三十年で地震が来るだろうと言われておりますので、早急な取り組みをお願いしたいと思います。それで防災の場合に、町民がどういうふうに我が身を守るかということですが、我が南風原町は沖縄県で唯一海に隣接していない地域のため、津波被害に対する関心度は希薄さを感じる。それから地域防災計画では自分たちの地域は自分たちで守ろう、自助、共助、公助というのがありますけれども、大体これが自助が7割、共助が2割、公助は1割なんです。だからそういう割合で自分を守っていかないといけない。だから役所や警察や消防が来る前に、まずみずから守るという、そういう訓練が必要なんです。地域住民が自主的に防災活動を行う体制を確立することがより有効な防災対策であると。まさにこれが防災組織なんです。これを自主防災組織の結成を推進している現時点でありますけれども、先ほどのように非常に、まだまだ取り組みも弱いし、結成されている地域も少ない、しかも訓練したのが3カ所ぐらいしかないという状況にございますので、いま一度、皆さんの強力な取り組みをお願いしたいと思います。どういふふうに変わってきますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 町民の安心・安全、生命・財産を守るために防災については強力に進めてまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 自主防災組織について最後ですけれども、宮城県名取市の閑上地区が大変な被害が出ました。そこで今、防災組織、あるいは自助、共助、公助について講演をしている方がおられますけれども、この被災は、大変な現場だそうなんです。見るのができないうらい、そういう現場でございますので、いかに自分で自分を守るかということが大事だということで訴えているんですけれども、本当に人間が人間じゃないと。特にその地区においては、人間がミキサ一車に放り込まれたような状況で見つかってくると。ですから自分の身内がわからないという状況ですので、是非この認識を持っていただくように、そういう取り組みをやらないと、いざ災害が発生したら同じ過ちの繰り返しになるということが強く言われていますので、後でお見せしますので、是非これを参考にしていま一度強力に取り組んでいきたいと思っております。これをお願いして、この質問を終わります。

あと3番目、沖縄振興特別推進交付金の活用でありますけれども、特別推進交付金が8年前にできたときに、大変制度的に制約があったんですけれども、その後、いろいろと変わってきてまして、観光に資するものについては可能なんですね。ですから今、南風原町で各部落のマチマーイというのがございます。部落の史跡を回りながら参加者に説明して歩く、その約2時間から3時間ぐらいの時間でやりますけれども、自分たちの地域のよさを再発見し、そこを観光の事業として取り組んでいこうという取り組みをしていますので、その推進交付金が、この事業にも活用できるんじゃないかと思っております。これが里道の整備なんです。部落の拝所に行く里道、そういうものを整備することによって、この地域に観光客を呼ぶ、あるいは県内の県民の皆さんを呼ぶ、そういう事業ができますけれども、ここに一步踏み込んで、この事業の活用ができないかということですので、いかがですか。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 答えします。確かに文化財、交付要綱につきましては、観光の振興に資する事業等を初め、18事業がございます。今ご質問にございます文化財の史跡巡りとか、そういった観光を誘致するというものについては、一括交付金でその里道を整備するというような、例えば石を張ったりとかですね、そういったことについては十分検討できるんじゃないかと思っております。そこについては県の担当課とそういった調整を行ってできるんじゃないかと思っております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 経済建設部長、是非進めましょうね。取り組んでいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。是非平成31年度補正でも取り組みたいと思っておりますので、各部落の自治会長に報告しますから、よろしく申し上げます。

それから(3)です。各自治会の公民館が以前防水工事とかいろいろやりまして、でもあのときはできなかったものがあるんです。フロアの整備とか、避難所でありますので、これも是非やっていただきたいと。いかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 これまでも平成24年度から、先ほど副町長が答弁した自治会において、避難施設ということで改修工事を行っております。また今年度、30年度でやったところにおいてもフロアの改修を行っております。また次年度においては喜屋武地区の防災、避難施設の改修を予定しております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 最後の質問ですから、私が言っている再度というのは、2回目も事業できるかということ。塗装はやりました、今度フロアやりたい。それが可能かどうか。認めてください。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 こちらのほうは、県、内閣府に申請して交付決定されるものですので、やはり上げて…、我々の認識としては1回限りとはないですが、上げて国、県が交付決定すれば実施可能かと考えております。

○議長 知念富信君 1番 玉城 勇議員。

○1番 玉城 勇君 是非進めていきますので、よろしく申し上げます。以上です。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩 (午後1時41分)

再開 (午後1時52分)

○議長 知念富信君 再開します。総務部長から訂正があるようですので、総務部長よろしく申し上げます。

2-3

- 総務部長 宮平 暢君 先ほど勇議員への答弁で、我々は2回、複数回認識できるということで答弁したんですが、町の要項の中で、これまで改修等事業補助金を一度も受けたことがない施設に関して補助をするということになっておりますので、訂正いたします。
- 議長 知念富信君 休憩します。